

学生が叶える 住みやすいまち京田辺

いどばたなべ ～井戸端会議でみんなえがおの京田辺～

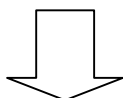
同志社大学 今川ゼミ

はじめに

私たちは「住みやすいまち」とは、幅広い世代の人たちが生活し、そして幅広い世代間の交流が活発に行われ、スムーズな世代交代が実践されるまちであると考えた。

現状と課題

住民同士のつながりが希薄



少子高齢化や世代交代をするにつれて、世代間交流の機会が少なくなっているのではないかと考え、子育てと高齢者に着目してこれを解決しよう！という結論に至った。

京田辺市のデータ分析とインタビューを行った結果・・・

- ・子育て
悩みはあるけど、相談できる人がいない
- ・高齢者
楽しみや生きがいのための機会が少ない

解決方法

月一回の交流会を開催することで、昔ながらの井戸端会議の概念の復興を促すことにより、地域で子育てをするという感覚を取り戻す

- より住民同士、そして地域のつながりが密接で強固なものになる
- みんな笑顔の京田辺になる！

井戸端会議とは？

現代社会における【井戸端会議(いど - ばた かいぎ)】とは、他愛のないおしゃべりや噂話から、情報交換や意見交換をしたり、あるいは自身の関心事を気の合う友人と語り合ったりすること。

井戸端会議を主婦たちの間でのみ行われることと限定しないで、特に京田辺市における子育てママと高齢者との間に、井戸端会議の考え方を今一度復興し取り入れる。そうすることで、住民同士のつながりが希薄になりがちな今こそ、より住民同士、そして地域のつながりが密接で強固なものになる。

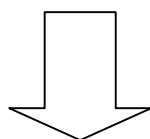
政策提言

『おはよう！京田辺』

< 月一回程度の交流会 季節に合ったイベント >

誰でも気軽に無理なく参加でき、一人で頑張るのが子育てではなく、周りを見渡せば仲間がいると実感できる。そして、参加することにより身も心もリフレッシュでき、京田辺市だからこそ実現可能なイベントを通し、楽しくいきいきとした時間が過ごせる。

これでは既に存在している子育てサークルや、高齢者サークルでも良いのではないか？



そこで！

既に存在している子育てサークルや、高齢者サークルだけでは参加者が固定化してしまい、他の世代や新旧住民との交流の機会は少なくなる一方だという点に着目

子育てママそして高齢者のニーズにも応えられる、世代間交流の場を提供することで、井戸端会議の復興を促し、住民ネットワークの強化を目指す

効果

京田辺で楽しく子育て

ココロとカラダも健康に

I ♥ KYOTANABE

防犯的・助け合いネットワーク

まとめ

それぞれの世代の良い部分をより生かし、足りない部分を他の世代がともに補い合うことで、京田辺市の住民ネットワークが強化される。

また、幅広い世代はもちろんのこと、住民だけでなく学生も積極的に参加することにより、スムーズな世代交代が実践される。

最終的に京田辺市はみんな笑顔のよりよいまちになる。